

令和 7 年度分 一ツ葉高等学校 学校評価について

国から構造改革特別区域計画の認定を受け、山都町が認可した【一ツ葉高等学校】について、学校評価を行いましたので公表します。

○根拠法令：構造改革特別区域法第 1 2 条第 5 項及び第 6 項

評価基準：4 = 優れている 3 = 良い 2 = 一部要改善 1 = 要改善

			点数・評価
学校運営体制	教職員の資質・能力の育成	点数	3
		評価	生徒による事業評価も活用しながら、計画に添い、教科指導、生活支援などに関して研修が実施されている。指導力の課題は教職員個別の課題でもあり、教育の根幹は教師の指導力につきとえられるため、課題別の研修の充実が求められる。 若い教職員も多いことから、教材研究、授業研究、生徒指導に関する研修の充実を図られたい。
	生徒指導の状況	点数	3
		評価	通信制課程では家庭との連携が難しい部分であるが、随時情報の共有等を図りながら対応されている。 進学、就職ともに成果を上げており、この点の指導体制は十分に整っていると感じられた。 高校で取り組んでいるソーシャルスキルトレーニングは、通信制で学ぶ生徒にとって社会性を身につける有効な学習であると確信している。社会的な課題（闇バイト等）にも対応した学習も積極的に取り入れていただきたい。

	地域との連携	点数	3
		評価	地域との連携を考えた場合、本校周辺地域だけでなく、山都町全体を対象地域と捉えていただきたい。広域な山都町は、生徒に良い影響を与える素材は多いと考えられる。地域産業や伝統文化に触れ、一層の理解を深めていただきたい。 例年開催いただいている地元中学３年生を対象とした地域未来塾は、大変有益なものである。現状は夏休み期間に中学３年生のみを対象とし開催されているが、対象を広げ通年で開催するなど、より有益なものとなるよう検討いただければありがたい。
施設・設備の状況	教室等の設置状況	点数	3
		評価	現在の目丸地区の本校は学校跡地であり、教育活動に支障はない。 本校移転の計画があったが、山都町側の事情もあり未だ移転できていない。本年度中には移転できるとのことであったが、山都町と調整しながら適切に移転を実行されたい。移転後は、地の利を活かした活動を行ない、課題である図書の充実にも期待したい。 学習等支援施設の状況がわからない部分があるため、町が策定した計画に沿って現地調査等を実施すること。

学習指導の状況	授業の状況	点数	3
		評価	一部、授業の成果を捉えることができなかった。生徒が興味を示したことを出発点に自ら課題を設定し、その課題を資料や情報をもとに探究していくことが深い学びに繋がると考える。生徒がどのような課題を設定し、解決のためにどのような手法を用いたのか、その結果どのような変化が生まれたのか、今後はこうした学びを実現するために、教材研究、授業研究、事例検討などをさらに充実させるとともに、問いの持たせ方、課題設定の支援、考えを深める指導について教職員が学ぶ場も必要であると考え。
	適切な面接指導の実施	点数	3
		評価	スクーリングの期間が余裕を持って設定されており、一人一人の進路に応じた科目選択ができるのは大規模校の強みである。 単位取得の状況から、適切な面接指導が実施されていると考えるが、実際の面接指導の現場を今後確認したい。
	問題を抱える生徒への対応	点数	3
		評価	スクールカウンセラーとの連携などの基本的な対策はできている。保護者会の開催やPTAの開設などは有効なものであると考えるが、今度どのように活用していくのか検討されたい。 一人一人の教育的ニーズに応えるには、学習面だけでなく行動面で困難を抱えている生徒を把握しなければならない。いくつかの事例は示していただいたが、全体的な成果が計れるよう見える化（数値化等）したものを示していただきたい。

学校設置会社の経営状況	学校経営の安定性	点数	3
		評価	SNS等を活用した広報活動は、現代の情報発信の手段や費用対効果の面において有用なものであると考える。取り組んでいる広報活動が入学者の確保等にどのように繋がっているか、その効果を次回審議会で示していただきたい。 入学者数の減少などの理由から売上収入がやや減少したが、その理由も分析されており、特に課題とは捉えられない。 設置会社の決算報告書では、安定性の指針である自己資本比率も増加しており、経営も安定している状況が伺える。
	学校設置による経済的効果	点数	3
		評価	スクーリング等で町内商業施設を積極的に活用されており、その経済効果は大きい。本校移転後は町内中心部に近くなるため、更なる経済効果を期待している。
	学校設置による社会的効果	点数	3
		評価	山都町を訪れ、町の文化に触れ、住民との交流を深めることで山都町が好きになった生徒が一定数おられるようで、大変喜ばしいことである。将来的に山都町に移住、定住いただけるきっかけとなりうるので、卒業後も山都町との関係が継続されることを望む。 少子高齢化の著しい本町において、生徒たちが町を訪れ、地域住民とふれあうことで町を活性化させる。地域としても生徒たちの関心や行動を把握することで、魅力ある地域づくりのヒントを得ることができるため、互いの相乗効果に期待する。 生徒がラジオ番組に出演し山都町の魅力をPRしたように、町としても多くの生徒が訪れ、町の活性化に寄与していることを住民に対し情報発信するよう努めてほしい。